

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道337号 中樹林道路 <small>なかじゆりん</small>	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 北海道開発局
起終点 自：北海道空知郡南幌町南15線西 至：北海道江別市江別太 <small>そらち なんぼろ えべつ えべつぶと</small>		延長 7.3 km
事業概要 道央圏連絡道路は、千歳市から札幌市を經由し小樽市に至る延長約80kmの地域高規格道路である。このうち中樹林道路は、南幌町から北海道縦貫道江別東IC間に至る延長7.3kmの区間で、新千歳空港や石狩湾新港へのアクセス向上、物流効率化に寄与する道路である。		
H-1年度事業化 H-1年度都市計画決定		H-1年度用地着手
全体事業費 204億円 (暫定2車線) (176億円)		事業進捗率 2% (暫定2車線) (2%)
計画交通量 17,400台/日		H-1年度工事着手 供用済延長 0 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 167/171億円 (事業費: 149/153億円) (維持管理費: 18/18億円)
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動: B/C=3.1 (交通量 +10%) B/C=2.6 (交通量 -10%) 事業費変動: B/C=2.7 (事業費 +10%) B/C=3.2 (事業費 -10%) 事業期間変動: B/C=2.8 (事業期間+20%) B/C=3.1 (事業期間-20%)		総便益 (残事業)/(事業全体) 488/488億円 (走行時間短縮便益: 364/364億円) (走行費用減少便益: 88/88億円) (交通事故減少便益: 37/37億円)
基準年 平成19年		
事業の効果等 ・国土・地域のネットワークの構築（地域高規格道路の位置づけあり） ・円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率） ・物流効率化の支援（重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる） 他11項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 小樽港、石狩湾新港、新千歳空港、苫小牧港を抱える地域で、これらを短時間でかつ安全に連絡する道央権連絡道路は、地域の発展に寄与するとして、4市3町の首長等で構成される道央圏連絡道路整備促進期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成13・14年度に新千歳空港関連が部分供用。 ・平成16年度に美原バイパスが全線供用。 ・当該道路に接続する国道12号江別道路が平成19年度に全線供用。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年に着工準備区間となり、測量・地質調査進捗率7%、事業進捗率は2%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代中頃の暫定2車線供用を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 設計の見直し、低盛土によるコストの縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。